



芸文協いしかわ

GEIBUNKYO ISHIKAWA

第60号
2023年3月28日発行



令和5年の国民文化祭とビエンナーレへ結束を確認したキックオフパーティー



広上さんの指揮で優雅な演奏を披露するOEKのメンバー

「文化絢爛」実現へ一丸 国民文化祭・ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭 開催1年前 キックオフパーティー

一般財団法人石川県芸術文化協会は令和4年10月19日、令和5年秋の国民文化祭(いしかわ百万石文化祭2023)と「ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭」の開催1年前「キックオフパーティー」を金沢東急ホテルで開き、芸文協加盟団体の代表者や県内市町の首長ら255人が芸術文化の祭典に向け結束を確認し、「一丸となって文化祭のキャッチフレーズ「文化絢爛」を実現することを誓い合いました。

令和5年10月14日、同11月26日に県内で約150事業を展開する国民文化祭は、芸文協や県などが隔年で催すビエンナーレを連携事業と位置付け、一体的に開催することになっています。

あいさつに立った国民文化祭の実行委員会文化芸術顧問である飛田秀一芸文協会長は、石川県で前回、国民文化祭が開催された1992(平成4)年の4年後に芸文協が発足したことを紹介。前回の開催時に比べ、今回は期間や事業数などの規模が大幅に拡大するとし「芸文協が前面に出て、事業推進を手助けする立場になった。芸文協初の国民文化祭に向け気持ちを引き締め、「文化絢爛」を実現できるよう協力してほしい」と呼び掛けました。

来賓で国民文化祭の実行委員会を務める馳浩知事は、「芸文協の一つになる力を国民文化祭で発揮していただき、本物の文化を世界に発信したい」と述べ、村山卓県市長会長の発声で乾杯しました。

アトラクションでは、令和4年9月にオーケストラアンサンブル金沢(OEK)のアーティストリック・リーダーに就いた広上淳一さんが、OEKメンバーを指揮し、「美しく青きドナウ」を優雅に響かせました。

県いけばな文化協会専務理事の前田由翠さん(池坊 金沢市)がロビーに「迎え花」を寄せ、流儀の技で彩りを添えました。

発行 ■ 一般財団法人石川県芸術文化協会 〒920-0919 石川県金沢市南町2番1号 TEL 076(263)6080 FAX 076(263)5999 ホームページ http://www.geibunkyo.or.jp/ Eメール office@geibunkyo.or.jp

芸文協後援会員

- | | | | |
|------------------|-----------------|---------------------------|---------------|
| アーク引越センター北陸(株) | 金沢エムザ | (株)テレビ金沢 | (株)ホクハイサービス |
| (株)アドバンス社 | クシマデザイン | ナカダ(株) | 北陸火工(株) |
| (株)アドマック | (株)ケイ・シィ・エス | 中村留精密工業(株) | (株)北陸共立 |
| ANAクラウンプラザホテル金沢 | (株)サウンド・ソニック | 日本新聞インキ(株)中部営業所 | (株)北陸銀行 |
| (公財)石川県音楽文化振興事業団 | サカタインクス(株)北陸支店 | 日本製紙(株)関西営業支社 | 北陸総合警備保障(株) |
| 泉 幸 志 | (株)柴舟小出 | (株)ネクステージ | 北陸電力(株)石川支店 |
| (株)一創 | (株)シ・ピ・エル | (株)ネスク | 北陸放送(株) |
| (株)インプレス | 波川流剣詩舞道 | のと共栄信用金庫 | (株)北國銀行 |
| 敵村石道 | 清水建設(株)北陸支店 | 野村證券(株)金沢支店 | (株)北國新聞社 |
| (株)エフエム石川 | (株)車多酒造 | 八田製本印刷(有) | 北國新聞駅西販売(株) |
| 江守マリ子 | (株)シヨセキ | (株)英商会 | 北國不動産(株) |
| (株)オトムラ | (株)白や | (株)バルデザイングループ | ホテル日航金沢 |
| オフィス・クロシェット | (株)セーフティ | ピアノデザインジュ | 堀井聖水 |
| 学校法人金沢医科大学 | (有)ゼスト | 兵庫製紙(株) | (株)丸藤 |
| 学校法人金沢学院大学 | (株)双建 | 廣岡理樹 | (株)三谷サービスエンジン |
| 金沢ケーブル(株) | 損害保険ジャパン(株)金沢支店 | 富士フィルムビジネスイノベーション(株) | 三谷産業(株) |
| 金沢信用金庫 | 大王製紙(株)大阪支店 | 富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株) | (株)ミュージッククラブ |
| (株)金沢東急ホテル | ダイダン(株)北陸支店 | (株)福光屋 | (有)ライターハウス |
| (公大)金沢美術工芸大学 | 太平ビルサービス(株) | 藤間勤寿々 | |
| (株)金沢舞台 | (株)ツテック | (株)ホクスイ | |

(順不同、敬称略)

今後とも芸文協の事業に対し、一層のご協力、ご支援をお願いいたします。なお、匿名ご希望の会員は掲載しておりません。

「芸文協後援会」 ご入会のお願い

「石川の新しい芸術文化を育てよう」を趣旨に「芸文協後援会」は、広く会員各位からのご支援をいただき、芸術文化活動に寄与しております。

石川の新しい芸術文化の育成と発展のために「芸文協後援会」にご入会いただき、ご協賛を賜りますようお願いいたします。

特別会員 年間会費10万円

◆特典

- ◎芸文協主催、共催行事へのご招待
- もしくは割引の優遇などをいたします。
- ◎芸文協加盟団体主催行事の割引優遇などもいたします。
- ◎芸文協年報、会報をお送りします。

通常会員 年間会費3万円

◆特典

- ◎芸文協主催、共催行事へのご招待
- もしくは割引の優遇などをいたします。
- ◎芸文協年報、会報をお送りします。

ご入会のお申し込み・お問い合わせ

一般財団法人石川県芸術文化協会 TEL076(263)6080 / FAX076(263)5999
Eメール office@geibunkyo.or.jp / ホームページ http://www.geibunkyo.or.jp/

舞台公演

期日：10月1日(土)～2日(日)
会場：北國新聞赤羽ホール

10月1、2日は赤羽ホールで舞台公演が行われ、1日は箏曲や太鼓、洋舞、ピアノが、2日は太鼓、舞踊、吟剣詩舞、邦楽舞踊の4団体が日頃の精進の成果を披露しました。



箏曲「六段調」を演奏する県箏曲連盟の会員



元気いっぱいダンスを披露する県洋舞連盟の出演者



小唄を粹に聞かせた花菱は満朝社中



力強いバチさばきを披露した志賀豊年力太鼓保存会



フィナーレを飾った県吟剣詩舞道総連盟の舞台

いしかわ芸術文化祭2022

「いしかわ芸術文化祭2022」は令和4年9月30日から、金沢市の北國新聞赤羽ホール、同交流ホールで3日間の日程で開催し、県芸術文化協会加盟の11団体が参加しました。

展示

期日：9月30日(金)～10月2日(日)
会場：北國新聞交流ホール

県いけ花文化協会は7流派36人が出展し、県編物協会のニットや県書美術連盟の書、北陸服装文化協会のファッションの作品も並びました。

出展団体：「テーマ」

石川県いけ花文化協会：「新進作家選抜花展」

石川県編物協会：「ニットのぬくもり」

北陸服装文化協会：「秋色の街」

石川県書美術連盟：「『石川の書展』入選作品展」



存在感を放つ書の秀作が並んだ会場



秋を感じさせる生け花を鑑賞する来場者



秋らしい大人の装いに見入る来場者



秋を感じさせるニット作品に見入る来場者

音楽の絵本～プラスサンタwithクラリキヤット～

動物音楽隊がクリスマス曲

0歳からの音楽会「音楽の絵本 プラスサンタwithクラリキヤット」は令和4年12月10日、金沢市の北國新聞赤羽ホールで開かれました。動物の格好をした音楽隊がクリスマスの名曲を披露し、親子連れで満席となった会場を盛り上げました。

オカビが指揮者を務める金管五重奏「ズーラシアンプラス」とネコの姿でクラリネット四重奏を披露する「クラリキヤット」が登場。



メンバーはクリスマス衣装に身を包み、「きよしこの夜」や「あわてんぼうのサンタクロース」などを奏でました。

アンコールの「ジングルベル」では、太い角を持つウシ科のゴールデンターキンとカラフルな鳥が演奏者として加わり、軽快な音色を響かせました。

「ジングルベル」で軽快な音色を響かせた出演者＝北國新聞赤羽ホール

北欧音楽の調べ 北欧の調べ 荘厳に

第173回芸文協コンサート「北欧音楽の調べ」は2月26日、金沢市の北國新聞交流ホールで開かれ、聴衆が壮麗な音色に聴き入りました。

ピアノの田島睦子さんによるメリカントの「ワルツ・レント」で幕を開けました。フルートの多田由実子さんとサクソフォンの筒井裕朗さんはグリーグの劇音楽「ペール・ギュント」で共演し、メゾ・ソプラノの仲谷響子さんはトゥール・アウリンの「4つのセルビアの歌」の抜粋を伸びやかに歌い上げました。

アンコールでは出演者全員でスウェーデンの伝説的ポップグループ「ABB A(アバ)」の「ダンシング・クイーン」を披露し、聴衆が手拍子で盛り上げました。



アンコールを披露する出演者＝北國新聞交流ホール

未来の伝統芸能を支える若者たち

若手奏者 みずみずしく

「いしかわ芸術新時代 未来の伝統芸能を支える若者たち」は令和4年11月13日、金沢市の北國新聞赤羽ホールで開かれました。地元の津軽三味線、民謡、和太鼓、箏の若き担い手たちが、みずみずしい唄や演奏を披露しました。

地元から津軽三味線明宏会の口出智太郎さん、今年の山中節全国コンクールを制した杉山民謡会の西房亜美さん、箏曲生田流正派邦楽会の浜上琴羽さん、白山市を拠点に活動する「和太鼓サスケ」が出演しました。



「津軽甚句」を披露する出演者＝北國新聞赤羽ホール

全国で活躍する津軽三味線奏者の中村滉己さんと飯田華那さんを迎え、「津軽甚句」に続き、津軽三味線の独奏で競い合いました。中村さん、飯田さん、口出さんによる「津軽じょんから節」の曲弾きでは、演奏中に何度も拍手が起きました。

和太鼓サスケの力強いパチさばきや、浜上さんのしっとりとした箏の音、西房さんの伸びやかな山中節も観客を引き込みました。

明宏会や杉山民謡会のメンバーもステージを盛り上げ、司会の松田隆行さんが東京五輪閉会式で唄った「東京音頭」で出演者が勢ぞろいし、フィナーレを飾りました。

KaTaCHI ～急ノ章～

斬新な邦楽に酔いしれ

いしかわ芸術新時代「KaTaCHI～急ノ章～」は3月11日、金沢市の北國新聞赤羽ホールで開かれ、伝統の音色と多彩な音楽が調和した斬新な邦楽に聴衆が酔いしれました。

KaTaCHIは、日本舞踊紫派藤間流師範の藤間信乃輔さんと宮内庁の楽師を務める笙奏者豊剛秋さん、二十五弦箏演奏家の中井智弥さんによる邦楽ユニット。公演は中井さん作曲の「紅蓮の炎」で幕を開け、3人が緩急自在の舞と演奏を披露しました。

長唄「静と知盛」では、横笛奏者の藤舎真衣さんが流麗な音色を響かせ、藤間さんが優雅に舞った。リチャード・ロジャースの「My Favorite Things」やモーリス・ラヴェルの「ボレロ狂詩曲」など洋楽やクラシックの名曲との融合も聴衆を楽しませた。

最後はKaTaCHIと藤舎さん、金沢学院大附属高吹奏楽部がステージにそろい、ベートーベンの「悲愴第2楽章」で迫力の演奏を繰り広げました。



迫力の演奏を繰り広げた出演者＝北國新聞赤羽ホール

国民文化祭と一体開催

2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭 第2回開催準備委員会を開催

9月3日から最多66事業

2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭(同実行委員会、石川県、一般財団法人県芸術文化協会主催)の第2回開催準備委員会は3月3日、金沢市の北國新聞20階ホールで開かれました。今年は、国民文化祭(いしかわ百万石文化祭2023)と一体的に催し、9月3日～12月3日に過去最多の66事業を展開する計画案を承認しました。

開催準備委員会では酒井雅洋委員長(県民文化スポーツ部長)があいさつしました。6月に実行委員会を組織し、具体的な事業計画を決めることとしています。

承認された計画内容

1、「ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭・国民文化祭」イベント

公演名	開催日	会場
山田和樹指揮 バーミンガム市交響楽団 金沢公演	6月27日(火)	石川県立音楽堂コンサートホール

2, 自主事業(国民文化祭特別連携事業):7事業

公演名	開催日	会場
加賀公演 「新進気鋭実力派アーティストのステージ」	10月3日(火)	石川県小松市團十郎芸術劇場うらら
和太鼓パフォーマンス集団 「DRUM TAO (ドラム・タオ)」	10月7日(土)	北國新聞赤羽ホール
映像の世紀コンサート	10月8日(日)	石川県立音楽堂コンサートホール
金沢落語まつり「立川志の輔独演会」	11月8日(水)	北國新聞赤羽ホール
舞台「アカシアの雨が降る時」	11月11日(土)	北國新聞赤羽ホール
能登公演「メンデルスゾーンの世界」	11月12日(日)	七尾市文化ホール
ガルガン・アンサンブル「昭和歌謡の名曲」	11月16日(木)	北國新聞赤羽ホール

3, 加盟団体が実施する事業

- ①リーディング事業(国民文化祭実行委員会が主催する事業):3事業
- ②地域文化発信事業(市町が企画する事業):3事業
- ③文化団体事業(文化団体が全国大会として実施する事業):18事業
- ④応援事業(全国大会ではない、従来のビエンナーレ事業):35事業

いしかわ百万石文化祭2023金沢市イベント

子ども文化体験 ワールド

～春に向けて気軽に
楽しい文化体験～

伝統芸能
プロが直伝



2月25日、26日の2日間、しいのき迎賓館で国民文化祭のイベント「子ども文化体験ワールド」を開催しました。親子連れなど650人が加賀茶道や加賀宝生などの体験講座で郷土に受け継がれる文化の魅力に触れ、10、11月に県内で繰り広げられる文化の祭典へ関心を高めました。



立礼席で一服を味わう親子連れ

2月25日(土)・26日(日)開催:4講座
茶道(石川県茶道協会)、加賀象嵌(金沢市工芸協会)、
金箔貼り、和菓子作り

郷土の文化
「面白い」
国文祭へ関心高め



2月25日(土)開催:6講座

加賀宝生【能楽】(加賀宝生子ども塾)、
将棋(日本将棋連盟石川県支部連合会)、
和太鼓(石川県太鼓連盟)、
彫刻(石川県美術文化協会)、
編物(石川県編物協会)、九谷焼



来場者の前で狂言の稽古に励む加賀宝生子ども塾の塾生

2月26日(日)開催:6講座

素囃子(金沢素囃子子ども塾)、百人一首(石川県かるた協会)、いけ花(石川県いけ花文化協会)、日本舞踊(石川県邦楽舞踊協会)、
手芸(北陸服装文化協会)、加賀友禅(石川県和装文化協会)



真剣な表情で曲を奏でる金沢素囃子子ども塾の児童生徒



扇子を片手に「さくらさくら」を舞う参加者